

湿原ゾーンの整備に向けてハシビロコウの展示を休止します

千葉市動物公園では、「千葉市動物公園リスタート構想アドバンスプラン」に基づく湿原ゾーンの整備に向けて、4月8日（水）からハシビロコウの展示を休止することとなりましたので、お知らせします。

1 展示休止個体について

(1) 愛称「しずか」

性別 メス

来園日 1989年10月19日

(2) 愛称「じっと」

性別 オス

来園日 2005年7月22日



ハシビロコウ「しずか」

2 展示休止期間

令和8年4月8日（水）～令和10年春頃（現時点の予定）

※湿原ゾーンの整備予定地である鳥類・水系ゾーンは令和8年6月頃の閉鎖を予定していますが、ハシビロコウの次の繁殖行動が見られる時期と重なるため、繁殖行動への影響がないよう、事前に非展示エリアに移動します。

3 展示休止後のイベントについて

(1) イベント名

最初で最後の内部公開～ハシビロコウと飼育員だけが見ていた景色～

(2) 期間

令和8年4月中旬～6月7日（日）

(3) 場所

鳥類・水系ゾーン ハシビロコウ展示場

(4) 内容

ハシビロコウの展示休止後の期間に展示場の中に入れます。ハシビロコウが作った巣を間近で観察したり、実物大パネルと写真を撮ったりすることができます。飼育担当によるガイドも開催予定です。

4 湿原ゾーンの整備について

『動物の暮らしを魅せる』展示空間の創出を整備方針とし、ハシビロコウ、アメリカビーバー、カピバラ、コツメカワウソなど、湿原に生息する動物の展示施設を整備します。ハシビロコウは、アジア初となる繁殖を目指します。

<参考>ハシビロコウについて

- ・英名 Shoebill
- ・学名 *Balaeniceps rex*
- ・分類 ペリカン目ハシビロコウ科
- ・分布 コンゴ民主共和国・ルワンダ・南スーダン・ザンビア・ウガンダの一部
- ・体長 全長1.2 m、翼開長1.0～1.3 m
- ・体重 4～7 kg
- ・保護状況 IUCNレッドリスト VU（危急種）
ワシントン条約附属書 II

・特徴

「木靴のような大きなくちばし」という名のとおり、とても大きなくちばしです。あまり動かないため、上顎の内側に藻が生えることもあります。羽根は灰色ですが、光の加減によっては青みがかって見えます。

・生態

単独で暮らし、湿地でじっと獲物が水面に上がってくるのを待ち、一瞬で捕まえます。卵やヒナを冷やす際には、大きなくちばしで水を汲んできてかけてやると言われています。野生下では繁殖期のワンシーズンで1～3個卵を産みます。